



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)齊藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	156,882	△28.8	△16,517	—	△15,476	—	△15,566	—
2020年3月期第3四半期	220,289	△9.3	3,722	△73.2	3,870	△73.3	951	△89.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △24,784百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △1,688百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△346.15	—
2020年3月期第3四半期	20.70	20.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	275,512	124,352	41.2
2020年3月期	281,194	151,325	48.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期113,554百万円 2020年3月期136,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	233,000	△21.2	△12,000	—	△10,000	—	△20,000	—	△444.73	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	47,991,873株	2020年3月期	47,991,873株
2021年3月期3Q	3,020,479株	2020年3月期	3,020,420株
2021年3月期3Q	44,971,447株	2020年3月期3Q	45,993,165株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による得意先の減産に伴う操業度の低下や工場の生産停止、為替影響等により1,568億円（前年同期比634億円減、28.8%減）の大幅な減収となりました。営業利益につきましては、売上高の大幅な減少により固定費の回収ができなかったこと等の要因により、165億円の損失（前年同期は37億円の利益）となり、経常利益は154億円の損失（前年同期は38億円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155億円の損失（前年同期は9億円の利益）となりました。

なお、足元の生産状況につきましては、各国において工場の稼働が再開しており、特に中国において生産活動がいち早く正常化する等、当社グループの生産状況は徐々に新型コロナウイルス感染拡大の影響から脱しつつあります。その結果、当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高は688億円となり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の水準に比べて大幅に回復しております。また営業利益につきましても12億円の損失となり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の水準に比べて大幅な縮小傾向にあります。また、翌連結会計年度以降は各地域において新車部品立上げが相次いで計画されており、当社グループの受注及び販売状況の回復が見込まれております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響等により、売上高は501億円（前年同期比162億円減、24.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は新車部品立上げ準備費用等の負担等もあり96億円（前年同期は12億円の損失）となりました。

② 米州

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響や政府の外出禁止・移動制限措置に伴う工場の生産停止及び為替影響等により、売上高は446億円（前年同期比226億円減、33.7%減）となり、セグメント損失は49億円（前年同期は7億円の利益）となりました。

③ 欧州

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響及び為替影響等により、売上高は153億円（前年同期比93億円減、37.8%減）となり、セグメント損失は35億円（前年同期は8億円の損失）となりました。

④ アジア

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う得意先の減産影響や政府の外出禁止・移動制限措置に伴う工場の生産停止及び為替影響等があったものの、中国における生産活動の正常化による販売状況の回復が見られたこと等により、売上高は466億円（前年同期比151億円減、24.5%減）となり、セグメント利益は13億円（同41億円減、75.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が30億円増加したものの、現金及び預金が71億円、たな卸資産が35億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ56億円減の2,755億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が242億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ212億円増の1,511億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が168億円減少したことに加えて、非支配株主持分が36億円、為替換算調整勘定が78億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ269億円減の1,243億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて7.5ポイントマイナスの41.2%となりました。

資金の状況につきましては、営業活動から得られるキャッシュ・フロー、資金調達手段、流動比率の水準に基づき、当社グループは、将来の債務履行のための手段を十分に確保しているものと考えております。また、足元の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業環境の悪化による資金需要の増加に対し、更なる機動的かつ安定資金確保の観点から、当第2四半期連結累計期間にて当社は新たに主要取引先銀行との間でコミットメントライン契約を締結しており、当社グループの事業の維持拡大、運営に必要な資金の確保に努めております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正及び特別損失の計上の見込みに関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,115	19,006
受取手形及び売掛金	33,859	36,959
たな卸資産	38,740	35,183
その他	14,895	17,869
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	113,610	109,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,264	35,047
機械装置及び運搬具（純額）	63,961	59,697
土地	7,481	7,382
建設仮勘定	24,140	26,497
その他（純額）	15,546	16,868
有形固定資産合計	145,394	145,492
無形固定資産	5,009	5,835
投資その他の資産		
投資有価証券	6,548	5,901
その他	10,640	9,273
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	17,180	15,165
固定資産合計	167,584	166,494
資産合計	281,194	275,512
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,836	29,587
電子記録債務	5,763	3,086
短期借入金	45,571	63,476
未払法人税等	6,897	7,017
賞与引当金	2,648	1,507
その他の引当金	84	69
その他	19,780	21,042
流動負債合計	109,583	125,786
固定負債		
長期借入金	1,037	7,413
関係会社整理損失引当金	1,624	1,603
その他の引当金	154	131
退職給付に係る負債	8,759	8,077
その他	8,710	8,148
固定負債合計	20,285	25,373
負債合計	129,869	151,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,498	13,498
利益剰余金	135,057	118,252
自己株式	△5,023	△5,023
株主資本合計	153,701	136,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	313
為替換算調整勘定	△8,855	△16,679
退職給付に係る調整累計額	△7,963	△6,976
その他の包括利益累計額合計	△16,846	△23,342
非支配株主持分	14,470	10,797
純資産合計	151,325	124,352
負債純資産合計	281,194	275,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	220,289	156,882
売上原価	196,637	156,101
売上総利益	23,651	780
販売費及び一般管理費	19,928	17,298
営業利益又は営業損失(△)	3,722	△16,517
営業外収益		
受取利息	612	408
受取配当金	65	19
持分法による投資利益	105	—
受取賃貸料	280	353
補助金収入	92	2,193
その他	173	169
営業外収益合計	1,328	3,145
営業外費用		
支払利息	434	447
貸与資産減価償却費	218	282
為替差損	371	464
持分法による投資損失	—	543
その他	157	365
営業外費用合計	1,181	2,103
経常利益又は経常損失(△)	3,870	△15,476
特別利益		
固定資産売却益	59	43
新株予約権戻入益	8	—
段階取得に係る差益	1,210	—
特別利益合計	1,278	43
特別損失		
固定資産処分損	167	211
特別損失合計	167	211
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,981	△15,644
法人税等	△1,351	821
過年度法人税等	3,245	△453
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,088	△16,013
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,136	△446
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	951	△15,566

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,088	△16,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	308
為替換算調整勘定	△5,097	△9,686
退職給付に係る調整額	618	986
持分法適用会社に対する持分相当額	△140	△380
その他の包括利益合計	△4,777	△8,771
四半期包括利益	△1,688	△24,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,465	△22,062
非支配株主に係る四半期包括利益	1,777	△2,722

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等、更にはそれによる当社グループの業績への影響を見通すことは、現時点において困難であります。そのため当社グループでは、前事業年度末において足元の販売状況を勘案し、2021年3月期の上期は売上が半減する状況から回復に向かい、下期から正常化に向かって行く等の一定の仮定において、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積もりを行っております。当該仮定に重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	66,433	67,340	24,685	61,828	220,289	—	220,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,936	237	29	1,439	17,644	△17,644	—
計	82,370	67,578	24,715	63,268	237,933	△17,644	220,289
セグメント利益又は損失 (△)	△1,286	784	△836	5,479	4,140	△417	3,722

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△417百万円は、のれんの償却額△61百万円及びセグメント間取引消去△355百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得して連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,367百万円であります。

なお、のれんの増加額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,167	44,679	15,355	46,679	156,882	—	156,882
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,737	7	1	603	12,350	△12,350	—
計	61,905	44,687	15,356	47,283	169,232	△12,350	156,882
セグメント利益又は損失 (△)	△9,675	△4,958	△3,516	1,353	△16,797	279	△16,517

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額279百万円は、のれんの償却額△91百万円及びセグメント間取引消去370百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。